

令和2年度 第1回北広島市上下水道事業経営審議会
(閲覧用)

日時：令和2年10月16日(金) 13:30~14:55

場所：北広島市役所3階 会議室3D

出席者：(委員)

高橋委員(会長)、細谷委員(副会長)、関谷委員、田中委員

原口委員、檜山委員、吉岡委員(7名)

(事務局)

藤縄水道部長、木村経営管理課長、笹原水道施設課長、佐々木下水処理

センター長、中田経営管理課主査、鈴木経営管理課主査、山田水道施設課

主査、名和経営管理課主任(8名)

≪議事概要≫

1 開会(13時30分)

2 委嘱書交付

3 市長挨拶

上野市長より挨拶

4 委員挨拶

各委員より挨拶

5 会議成立報告

事務局：委員8名中、7名出席で、北広島市上下水道事業経営審議会条例第5条

第3項の規定により、会議成立を報告

6 会長及び副会長の選出

高橋委員を会長、細谷委員を副会長に選出

7 会長及び副会長挨拶

高橋会長及び細谷会長より挨拶

8 水道ビジョン・経営戦略審議依頼

上野市長から高橋会長へ依頼書を渡す

9 議事録署名委員の氏名

高橋会長より細谷委員を指名

10 案件

(1) 北広島市上下水道事業の概要について【資料1・2】

事務局より説明

〈質疑応答・委員からの意見等〉

委員 A：水を購入する費用が約5億円かかっているとのことでしたが、その水を作る石狩東部広域水道企業団は、独自で経営戦略と水道ビジョンを作成しているため、今回の経営戦略と水道ビジョンの見直しにおいては距離感を持ち議論をしていくということによろしいでしょうか。また、水道ビジョンと経営戦略の話がありましたが、重なり合う点が多いように感じました。1つにまとめても良いのではないのでしょうか。分けた経緯を教えてください。

事務局：初めに、石狩東部広域水道企業団は今年度に経営戦略を策定したところであり、令和6年度に受水単価を見直す計画になっております。受水単

価の変更となれば我々の経営戦略についても影響してきますので、今後の審議会でご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。次に、水道ビジョンと経営戦略の関係については、水道ビジョンは厚生労働省から、50年後、100年後の水道事業の理想像を長期的な目線で見、水道の基本理念・基本方針などを定めることと要請をされております。対して、経営戦略は、主に財政面より、具体的にどのように経営を進めるかという戦略になります。基本理念・基本方針を踏まえたうえで財政面の予定を立てますので重なる部分もあります。そこで、今回、経営戦略と水道ビジョンをまとめて見直しを行うことで市民の方にもわかりやすく見ていただけたらと考えております。

委員 A：経営戦略をもとに3年計画や5年計画などを立て、事業が執行されていくイメージでよろしいでしょうか。

事務局：経営戦略については、10年計画で行っております。事業の執行については、3年間の見通しで市の総合計画を推進していく推進計画というものがああります。推進計画をもとに単年度の予算が定められております。経営戦略についても10年計画ではありますが、3年目を迎え、変化している状況に対応するため、見直しをしていくこととなります。

委員 B：料金収入の推移に関して、この先どのくらいの減少率で人口減少を見込んでいるのかということと、その見込みを公開していった方が良いのではないかと思います。

事務局：経営戦略の改定にあたっては、人口推計を行ったうえで将来的にどのようになるかも検討しながら進めていきたいと考えております。現状、生まれる方が亡くなる方の半分以下という水準になっております。そのため、自然増減に関しましてはどうしても減るという想定になります。そこで、いかに転入者を増やしていくかという点が重要になると考えております。人口推計につきましても委員さんのご意見を聞きながら複数の推計パターンを考えていきたいと思っております。

(2) 今後の審議会の予定について【資料3】

事務局より説明

(3) 上下水道施設の見学について【資料3】

事務局より説明

〈質疑応答・委員からの意見等〉

全委員：意見等なし

11 その他

全委員：なし

事務局：なし

12 閉会

(14時45分終了)

13 施設見学

北広島市水道管理センター（竹山配水池） 【北広島市富ヶ岡 550 番地】

共栄調整槽 【北広島市共栄 304 番地 4】

北広島下水処理センター 【北広島市富ヶ岡 916 番地 2】